

『三層モデルでみえてくる言語の機能としくみ』

日時：2016年9月30日（金） 10:00～17:30

場所：つくば国際会議場 小会議室 303

筑波英語学会会長の廣瀬幸生先生が提唱されている「言語使用の三層モデル」をテーマにしたワークショップ『三層モデルでみえてくる言語の機能としくみ』を上記の日程で開催することになりました。「三層モデル」に関するワークショップはすでに日本英語学会でも行われ、*English Linguistics* 誌（2015年、32巻1号）では「特集テーマ」として関連論文が数本掲載されております。今回は、三層モデルにおける重要概念を、意味論や語用論にとどまらず、統語論、形態論、会話分析なども含めたより広い観点から取り上げ、三層モデルを起点にどのように言語研究の場をひろげていけるのかを考えたいと思います。現在内定している発表者は次のとおりです。

《ワークショップ発表内定者》

廣瀬幸生（筑波大学）、岩田彩志（関西大学）、西田光一（下関市立大学）、
高木智世（筑波大学）、長野明子（東北大学）、金谷優（筑波大学）、
和田尚明（筑波大学）、島田雅晴（筑波大学）

当日は、発表のみならず、フロアを含めた全体討論に多くの時間をあてる予定です。また、ワークショップの趣旨にそった論文集も刊行する予定です。その際には今回ご発表いただけなかった方々からも広く論文をお寄せいただくことを考えております。

なお、本ワークショップに際して、廣瀬幸生先生の還暦のお祝いをするべく、終了後には記念パーティが下記のとおり開かれます。

《記念パーティ》

つくば国際会議場内レストラン エスポワール 18:00～20:30

（会費：8,000円～10,000円を予定）

お忙しい時期とは存じますが、多くのみなさまにご参加いただきたく、ご案内申し上げます。プログラム、記念パーティ、論文集の詳細が決まりましたら、再度ご案内を差し上げます。ご質問等は、企画者代表の島田雅晴 (shimada.masaharu.fu@u.tsukuba.ac.jp) までいただければと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ワークショップ企画者一同

島田雅晴（代表）、和田尚明、金谷優、長野明子